

分野1 第1の柱：6大学連携による「秋田おらほ学」の展開

【平成30年度・令和元年度】

① 6大学連携による秋田おらほ学認証制度の構築

地域を志向した教育プログラムに関する6大学共通の認証制度である「秋田おらほ学」認証の構築に向けて、各校の地域志向科目の提供状況の確認や認定要件等に関する事前調整を実施し、その結果を踏まえて、平成30年12月7日に「6大学秋田おらほ学検討委員会」、平成30年12月14日「教育プログラム開発委員会」を開催し、平成31年1月25日付けで「6大学連携による『秋田おらほ学認証』に関する要項」を制定し、同認証制度を構築することができた。これを受け、各大学での学生への説明会を開催、申請受付を経て、平成31年3月26日に教育プログラム開発委員会にて第1期の秋田おらほ学認証者の審査を行い32人（秋田大学24人、秋田県立大学8人）の認証者を決定し、平成31年4月に認証書を交付した。秋田県内の6大学が独自に定める地域志向科目の学修等を通して、秋田の魅力や現状、課題について理解し、課題解決に必要な知識や技能を修得するとともに、地域課題解決のために主体的に行動する意欲を有すると認められる学生に対して「秋田おらほ学認証書」を交付することにより、地域に興味・関心を持つ学生の育成及び学生の地元就職意欲喚起に取り組んだ。また、認証書交付式について秋田魁新報（以下地元紙）の紙面に取り上げられ、秋田おらほ学認証の取組について広く情報発信することができた。

・「6大学秋田おらほ学検討委員会」



・「教育プログラム開発委員会」



秋田おらほ学認証者数（人）

| | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------|--------|-------|
| 秋田大学 | 24 | 22 |
| 秋田県立大学 | 8 | 5 |
| 合計 | 32 | 27 |

* 認証対象年次：秋田大学3年生、秋田県立大学2年生

* 令和元年度は予定者数

平成30年度秋田おらほ学認証者の主な就職先（人）

| 事業所名 | 人数 |
|----------|----|
| 秋田県庁 | 3 |
| 秋田市役所 | 3 |
| 秋田地検 | 2 |
| 秋田地裁 | 1 |
| 秋田銀行 | 1 |
| 北都銀行 | 1 |
| 秋田県小学校教員 | 1 |
| 県内民間事業所等 | 7 |
| その他 | 5 |
| 合計 | 24 |

* 合計24人は全て秋田大学生



認証書交付式について秋田魁新報記事

「秋田おらほ学認証書交付式」



また、令和元年度はCOC+事業から波及し、秋田おらほ学認証制度以外の他大学間の連携事業として、学生同士の連携・交流のイベントを実施した。一つ目が学生と県内社会人との交流による次世代の地域リーダーの育成を目的とした秋田大学教育文化学部地域文化学科主催の「あきた未来カフェ」であり、令和元年12月8日開催のイベントに学生4校14人（秋田大学10人、秋田県立大学1人、秋田高専2人、国際教養大学1人）、社会人10人が参加した。二つ目が県内大学で地域交流活動を展開している学生団体同士の連携構築を目的とした大学コンソーシアムあきた主催「学生交流フォーラムポスターセッション」であり、令和2年1月25日開催のイベントに8校（秋田大学、秋田県立大学、秋田高専、国際教養大学、秋田公立美術大学、日本赤十字秋田看護大学、同短期大学、秋田看護福祉大学）が参加した。

・「あきた未来カフェ」



・「学生交流フォーラム」ポスターセッション・活動紹介



② 「COCキャリア認証プログラム」の実施（秋田大学）

地域課題解決に主体的に行動できる人材の育成を目的とし、一定数の地域志向科目を修得した学生に「あきた創生推進士」の称号を授与する「COCキャリア認証プログラム」をスタートさせ2年目となる平成30年度は修了者108人（前年95人）を輩出した。また、地域志向科目の拡充を進め、令和元年度から教養教育科目における主題別科目（地域志向・キャリア形成）において、「秋田の暮らし」や「秋田の産業」など8科目、理工学部においても県内企業と連携した課題解決型授業として、従来の「プロジェクト実践研究Ⅱ」に加え、「プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ」の2科目を新たに開講することとなり、学生に秋田県への更なる興味・関心を持たせ、地元定着への意欲喚起を図った。

平成30年11月13日～14日福井大学で開催されたCOC+フォーラム「はばたけ地域創生士サミット」にて、事例発表として、秋田大学教育文化学部の学生2人により、COCキャリア認証プログラムの地域志向科目である地域連携プロジェクトゼミの実習報告を行い、全国から参集したCOC+事業関係者に向けて情報発信することができた。

「COCキャリア認証プログラム」認証者数（人）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|--------|--------|-------|
| 認証者数 | 95 | 108 | 113 |

* 令和元年度は予定者数

令和元年度の新設地域志向科目・受講者数（人）

| | 科目 | 受講者数 |
|--------|-------------------------------|------|
| 教養教育科目 | 「起業力」養成ゼミナールⅡ | 10 |
| | 地域キャリアデザイン | 42 |
| | 秋田の暮らし | 42 |
| | 超高齢社会と健康寿命 ー秋田県の保健医療の包括的な取り組み | 5 |
| | 秋田の産業 | 140 |
| | 秋田の再生可能エネルギー | 20 |
| | 秋田の産業史と経済の成り立ち | 26 |
| | 秋田の地域資源と観光 | 36 |
| 理工学部 | プロジェクト実践Ⅰ | 12 |
| | プロジェクト実践Ⅱ | 11 |



「はばたけ地域創生士サミット」事例発表

分野2 第2の柱：3大学と地元企業群による就業支援、若者定着の促進

【平成30年度・令和元年度】

③「秋田就職サポート会議」及び「秋田ものづくりオープンカレッジ」の開催

(i) 「秋田就職サポート会議」の開催

COC+事業に参画する6大学と秋田県や県内経済団体などの事業協働機関等で構成する「秋田就職サポート会議」(平成30年8月8日と平成31年1月31日、令和元年8月8日と令和2年2月21日)を開催し、前年度の県内就職実績や本年度の就職動向について情報共有を図るとともに、各大学や県による県内就職推進の取組についての紹介と意見交換を行い、引き続き、大学と事業協働機関の連携した県内就職支援の取組を実施していくことを確認した。

(ii) 「秋田ものづくりオープンカレッジ」の開催

大学と秋田県との共催により、秋田県立大学(平成30年10月17日、令和元年10月18日)秋田大学(平成30年10月23日、令和元年11月6日)を会場に「秋田ものづくりオープンカレッジ」を開催した。令和元年度は県内の自動車、航空機、医療福祉機器、情報通信の4分野に携わる38社(前年38社)のブース出展と県内企業1社の講演会を行った。企業展には秋田県立大学会場に242人(前年251人)秋田大学会場に369人(前年258人)の来場者、講演会には秋田県立大学会場に50人(前年69人)秋田大学会場に60人(前年103人)の聴講者を集め、高度な技術による製品や事業内容など、県内企業の魅力を多くの学生に伝えることにより、学生と県内企業とのマッチングを促進した。また、企業展について地元紙の紙面に取り上げられ、学生の県内就職支援の取組について広く情報発信することができた。



平成31年1月31日開催



令和元年8月8日開催

・「秋田ものづくりオープンカレッジ」



第1部の様子(秋田大学)



第2部の様子(秋田大学)



秋田魁新報記事(秋田県立大学)

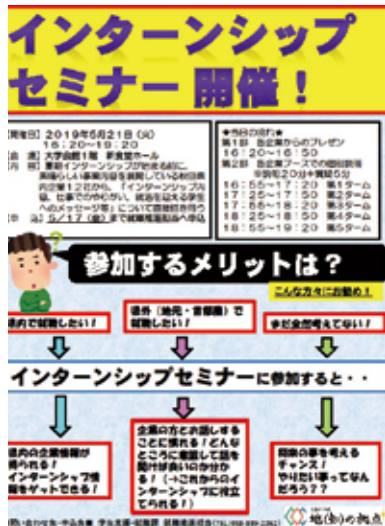
「秋田ものづくりオープンカレッジ」参加状況

| | 出展ブース | | 企業展来場者 | | 講演会聴講者 | |
|--------|-------|-----|--------|------|--------|-----|
| | H30 | R01 | H30 | R01 | H30 | R01 |
| 秋田大学 | 38社 | 38社 | 258人 | 369人 | 103人 | 60人 |
| 秋田県立大学 | 38社 | 38社 | 251人 | 242人 | 69人 | 50人 |

④ 「インターンシップセミナー」、「大学と県内企業による情報交換会」の開催及び「ジョブシャドウイング」の実施
(秋田大学)

(i) 「インターンシップセミナー」の開催

インターンシップ受入予定企業による学生へのプレゼン大会として「インターンシップセミナー」(平成30年5月23日、令和元年5月21日)を開催した。令和元年は参加企業12社(前年12社)により学生88人(前年90人)へ企業内容、インターンシップ内容等について説明を行い、学生のインターンシップ参加を促進した。



(ii) 「大学と県内企業による情報交換会」の開催

秋田大学で平成29年度に単独で取組を始めた、「大学と県内企業による情報交換会」について、平成30年度からは、秋田県立大学、秋田工業高等専門学校との3大学連携事業として、北秋田市(平成30年9月5日、令和元年9月24日)、秋田大学(平成30年9月6日、令和元年9月26日)、横手市(平成30年9月7日、令和元年9月27日)を会場として開催した。令和元年度は合計78社(前年79社)の参加があり、県内企業による採用活動の事例紹介や3大学と企業との個別相談会を実施して、参加企業に対し早期の採用活動を実施するよう促し、参加企業からはその重要性の認識ができた旨の前向きな意見が寄せられた。



県北会場



中央会場



県南会場

(iii) 「ジョブシャドウイング」等の実施

平成29年度まで秋田県立大学が単独で実施していた短期間の職場観察型インターンシップであるジョブシャドウイングについて、平成30年度は秋田県立大学の主導により秋田大学においても実施し学生が参加した。(平成30年度6社7人、令和元年度4社8人)

また、令和2年2月14日に事業協働機関である秋田銀行との連携により、県南地区の企業3社への職場見学バスツアーを初めて実施し、理工学部生等11名が参加した。

分野3 第3の柱：ふるさと秋田の魅力形成モデルづくり（秋田大学）

【平成30年度・令和元年度】

⑤「聞き書きボランティア養成講座」の開催

聞き書きに関する高校生を対象とした外部講師招聘による「聞き書きボランティア養成講座」（平成30年7月6日、令和元年7月5日）を開催した。令和元年度は秋田西高校、金足農業高校の生徒23人（前年25人）が参加した。令和元年7月30日には両高校の生徒により、潟上市の高齢者から実際に話を聞く「聞き書きボランティア実践活動」を実施し、令和元年10月23日に聞き取りした話を文字にして作成・製本した聞き書き小冊子の贈呈会を開催した。また、贈呈会について、朝日新聞及び地元紙の紙面に取り上げられ、聞き書きに関する取組について、広く情報発信することができた。

令和元年8月31日に医学系研究科教員1名が聞き書きに関する全国組織の研修会である「第5回聞き書き学校 in 一ノ関」に参加し、聞き書き指導者としてのスキルアップを図った。



外部講師による養成講座

・「聞き書きボランティア養成講座」



贈呈会の秋田魁新報記事



実践活動

⑥「コグニサイズ運動」の展開及び「コグニサイズ」指導者の養成

平成30年度において、10月10日から3月6日まで潟上市の高齢者22人を対象に計21回の「コグニサイズ教室」を開催した。また、同教室の開催については、日本経済新聞及び地元紙の紙面に取り上げられ、コグニサイズに関して広く情報発信することができた。

コグニサイズ運動の全県への普及拡大を目的としたシンポジウムを、10月17日に潟上市において「コグニサイズ事業中間報告会」として開催した。自治体、医療福祉関係者及び一般県民等73人出席のもと、コグニサイズの概要紹介、東成瀬村と男鹿市での実践事例を大学・自治体・参加者の立場から報告および地域包括支援センター等の県内自治体関係者や病院・介護事業所関係者などの出席者による意見交換を行い、新聞記事としても取り上げられ、コグニサイズ運動について情報発信し普及拡大に寄与することができた。また、以下のとおり、当初計画になかった潟上市以外の自治体等からのコグニサイズ講師の派遣要請に対応し、コグニサイズ運動の普及活動に努めた。

(自治体等への講師派遣対応)

- ・5/24 秋田市新屋田尻沢地区体験会・5/27 三種町希望苑実演会
- ・5/30 秋田市生涯学習奨励員研修会・6/30 NSCAジャパン東北地域ディレクターセミナー
- ・9/11 秋田市菊谷小路いきいき町づくりの会・9/22トレイク潟上プレオープン
- ・12/15 秋田県「めざせ健康寿命日本一応援フェア」・12/20 秋田市西部市民SC市民講座

11月8日・9日に国立長寿医療研究センターにおけるコグニサイズ指導者研修へ医学系研究科教員1人が参加し、コグニサイズ指導者としての認定を受け、事業推進体制の強化を図った。

3月22日にこれまでのコグニサイズ運動の取組に関する資料集「コグニサイズ運動の展開に関する中間報告書」を作成し基礎資料を取りまとめた。

令和元年度はこれまで「コグニサイズ教室」を実施した3地区について、次のとおりフォローアップ指導を展開した。東成瀬村(6月6日参加者5人)、潟上市(6月12日参加者15人、8月28日参加者14人)、男鹿市(6月28日参加者16人)

・「コグニサイズ」



「コグニサイズ教室」の様子



「コグニサイズ事業中間報告会」の秋田魁新報記事

⑦首都圏大学等に対するスポーツサークル等の合宿誘致活動および教育実習誘致活動の実施

「合宿誘致活動」: 全日本バレーボール大学女子選手権大会に出場した大学(平成30年11月26日 筑波大学他4大学、令和元年11月28日 順天堂大学他 大学)に秋田県内での合宿を働きかけた。

「教育実習誘致活動」: 平成29年度に誘致した共栄大学(埼玉県)の教育実習を東成瀬村(平成30年度2人、令和元年度2人)、大館市(平成30年度2人、令和元年度5人)で継続して実施した。

・「教育実習誘致活動」

・「合宿誘致活動」



県内就職率・県内就職者数実績推移

| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R01 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 |
| 秋田大学 | 37.9% | 37.8% | 36.4% | 33.3% | 37.4% | 48.0% |
| | 279 人 | 297 人 | 272 人 | 234 人 | 250 人 | |
| 秋田県立大学 | 19.3% | 25.1% | 18.4% | 16.4% | 20.4% | 29.4% |
| | 55 人 | 67 人 | 52 人 | 46 人 | 58 人 | |
| 秋田工業高等専門学校 | 9.5% | 12.8% | 22.7% | 14.2% | 13.7% | 20.0% |
| | 13 人 | 15 人 | 27 人 | 16 人 | 17 人 | |
| 合計 | 30.0% | 32.4% | 30.5% | 27.0% | 30.1% | 39.9% |
| | 347 人 | 379 人 | 351 人 | 296 人 | 325 人 | |

令和2年3月卒業者 就職内定県内率状況

(人)

| | | 平成31年2月末 | | | | 令和2年2月末 | | | |
|------------|----------|----------|-----|-----|-------|---------|-----|-----|-------|
| | | 合計 | 県内 | 県外 | 県内率 | 合計 | 県内 | 県外 | 県内率 |
| 秋田大学 | 国際資源 | 61 | 5 | 56 | 8.2% | 65 | 4 | 61 | 6.2% |
| | 教育文化 | 155 | 85 | 70 | 54.8% | 191 | 99 | 92 | 51.8% |
| | 医 | 223 | 96 | 127 | 43.0% | 224 | 94 | 130 | 42.0% |
| | 医学科 | 121 | 45 | 76 | 37.2% | 116 | 47 | 69 | 40.5% |
| | 保健学科 | 102 | 51 | 51 | 50.0% | 108 | 47 | 61 | 43.5% |
| | 理工 | 197 | 40 | 157 | 20.3% | 215 | 36 | 179 | 16.7% |
| | 計 | 636 | 226 | 410 | 35.5% | 695 | 233 | 462 | 33.5% |
| 秋田県立大学 | システム科学技術 | 161 | 24 | 137 | 14.9% | 169 | 30 | 139 | 17.8% |
| | 生物資源科学 | 122 | 34 | 88 | 27.9% | 120 | 38 | 82 | 31.7% |
| | 計 | 283 | 58 | 225 | 20.5% | 289 | 68 | 221 | 23.5% |
| 秋田工業高等専門学校 | | 124 | 17 | 107 | 13.7% | 92 | 18 | 74 | 19.6% |
| 合計 | | 1,043 | 301 | 742 | 28.9% | 1,076 | 319 | 757 | 29.6% |